

# 第4期環境行動計画

富士通グループは、「環境方針」を実践していくための具体的目標として中期行動計画を策定しています。2004年度から2006年度にかけての「第4期環境行動計画」では、活動範囲を富士通グループの全領域（設計・開発部門、製造部門、本社機構、営業、ソフト・サービス部門）に拡大し、体系的な環境保全活動を通じて持続可能な社会づくりに貢献することをめざしています。

活動の2年目にあたる2005年度は、海外グループ会社を含めた環境経営の枠組み構築を完了したほか、スーパーグリーン製品や、環境貢献ソリューションの認定商品拡大などの成果を上げています。目標達成に向けて、より一層取り組みを推進していきます。

## 2005年度実績

項目	行動計画の目標	2005年度実績
環境経営の強化	環境マネジメントシステムに基づく環境経営の枠組みを、2005年度末までにグループ全社で確立する	製品のサプライチェーンの観点から選定した11社12海外拠点を対象にし、国内グループ統合認証を拡大したグローバル統合認証を取得 その他の海外34拠点についても、環境マネジメントシステム(EMS)を導入し、グループ全社(連結子会社)において環境経営の枠組みを構築完了
グリーン調達	環境マネジメントシステム(EMS)が構築された取引先からの調達比率を2006年度末までに100%とする	すべての調達品(製品用部品・材料・ソフトウェア・設備・工事・保守など)を対象として、EMSが構築された取引先からの調達比率99.7%を達成
製品環境対策	全事業部門の主要製品群から環境トップ要素を持つスーパーグリーン製品を、2006年度末までに提供する  すべての製品に含有する富士通グループ指定有害物質を、2005年度末までに全廃する	2005年度では21製品群、2004年度からの累計で33製品群をスーパーグリーン製品として開発  2006年4月より富士通グループ指定有害物質を含まない製品の提供を開始(一部例外の製品*を除き) ※ 一部例外の製品 ●RoHSでも対象製品となっていない医療機器や特定システム向け製品などで信頼性が重要視される製品 ●顧客仕様で提供する製品
製品リサイクル	リサイクルシステムを、2004年度末までに欧州、2006年度末までに北米、アジアで構築する  回収した使用済製品の資源再利用率を、2006年度末までに90%達成  回収した廃プラスチックの再生利用率を、2006年度末までに20%にする	北米、アジア地域の拠点から、リサイクルシステム構築拠点を選定し、運用に向けて準備中  回収した使用済製品の資源再利用率を90.3%達成 ※ 1年前倒して目標達成  製品向けに5.0%分を実用化 更に輸送用パレットへの使用拡大を推進中
環境貢献ソリューション	ソフト・サービス事業の全領域において、お客様の環境負荷低減に貢献する「環境貢献ソリューション」を、2006年度末までに提供する	「環境貢献ソリューション」認定制度を富士通社内の各本部からグループ企業に展開し、24分野(54商品)を提供
地球温暖化防止	エネルギー消費CO <sub>2</sub> を2010年度末までに1990年度実績以下に抑制する(2006年度末までに2000年度実績比15%削減)  CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガスを2010年度末までに1995年度実績比10%削減する  物流・リサイクル・省エネ製品などにより削減貢献	エネルギー消費によるCO <sub>2</sub> 排出量は、約111.0万トンであり、2000年度実績比31%削減(1990年度実績比では2.5%増加)  CO <sub>2</sub> 以外の温室効果ガス(PFC、HFC、SF <sub>6</sub> )の排出量は、約48.8万トンであり、1995年度実績比88.4%増加  物流部門での環境活動を強化
グリーンファクトリーの推進	2006年度末までに2001年度実績比で化学物質(PRTR対象物質)の排出量を15%削減する  廃棄物発生量を2006年度末までに2003年度比3%削減する	対象化学物質の排出量は47.5トン 2001年度実績比で52.0%削減  廃棄物発生量は28,821トン 2003年度比で43%削減